

これから始まる メイプルの森の第1歩

2015年11月14日
緑化フェスタ

メイプルの森の第1歩として・・・

種のベッドを
作ります!!!

メイプルの種

これがプロペラみたいにくるくる回って
地上に舞い降ります



種で一す！これを蒔きます！！



10ミリくらいの
かわいい種です

どこに作るの？

5月の緑化フェスタのときにホームステイした
苗木のお隣です



どんなベッド？

3つあります

1. プランターのベッド



2. 土のベッド



3. 冷蔵庫の中（寒さを体験させるそうです）



良いベッドにするために①

サトウカエデは、
日照と有機質に富んだ
肥沃な土を好みます。

とーっても美食家な種
なのです！！



良いベッドにするために②

★注意すること★

低温処理が必要な種子なので、冬の屋外に鉢を置くことになりますが、マルチング材で覆うなどして、霜に当てないようにするとよい。



霜に当てると種子が用土から露出することがあり、露出した場合、種子が乾燥し発芽能力が失われてしまうためです。 ⇒霜注意

良いベッドにするために③

★注意すること★

外気温で低温期間を確保できない場合は湿らせた土とともに数週間冷蔵庫に入れて、低温条件を人工的に作り出すことも可能と思われます。
(冷凍庫ではない)

※急がないのであれば、翌秋に蒔いた方が自然です。

良いベッドにするために④

★注意すること★

保管方法などにより、種子の休眠が深いなど条件が揃わない場合は発芽まで時間がかかる可能性もあり、芽がなかなか出ないときも、気長に待てるゆとりが必要です。

種蒔きの時期①

種蒔き適期は秋から早春にかけてです。低温要求性種子のため、ある程度の期間の低温が必要になるためです。

目安として、3ヶ月間4.5~0.5℃の低温とされていますが、気温が1℃の時に1番発芽率がいいとか、2月に播いて3月に発芽した例もあるようなので、種子の保存状態などによるのかもしれませんが。

種蒔きの時期②

種蒔方法については、種子は1cm位の深さに蒔き、
用土の湿度を保つ。（途中での乾燥を避ける）

※なお、種蒔前の処理として、種子を24時間水に浸けておくのがよいです※



さらに注意すること①

若木は、特に湿潤な場所を好むので、根元をワラやバークなどで覆うことで急激な乾燥を防ぐこともよい。

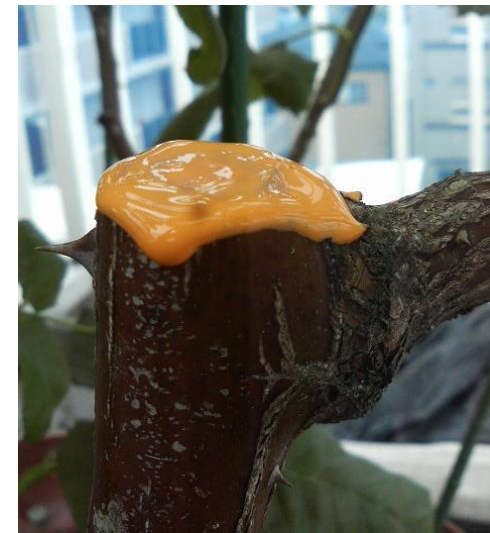


地植えの場合は少ない肥料でもよく育つが、鉢植えの場合は緩効性の肥料を与えたり、液体肥料を月に1～2回与えるなどの手入れが必要です。

さらに注意すること②

カミキリムシの害を受けることがあるそうなので注意したい。大きくなったのにカミキリムシの害のあった部分より上は枯死した場合もあるようです。

病害部は切除して焼却処分。または可燃ごみとして処理し切断面にトップジンペーストなどを塗ることが必要です。



さらに注意すること③

一般にカエデ類は樹液が甘いため、（枝が折れた後などの）傷口から出た樹液にカミキリムシが誘引される害が多い樹種なので傷口を放置するのはよくない。
（カミキリムシの幼虫が幹内に入ると枯れる危険あり。）

冬場の幹に石灰硫黄合剤を塗っておくなどの予防も有効と思われます。



こんな風景を夢見て・・・



メイプルの森創生のためには、皆様のお力が不可欠です。

何とか多くの方が訪れたいと思うような森を作っていきたいと思っていますので、宜しくお願いいたします！！

